

○「地域の現況を把握、後継者の意向確認も」

(京都府宮津市 上宮津地区連絡会議)(平成30年度第2回)

担い手への
農地利用の
集積・集約化

遊休農地の発生防止・解消

新規参入の 促進

その他
(農業委員会の
体制強化等)

1 活動の日時や時期、場所等

- | | |
|-----------|---|
| ○ 日時(時期): | 平成30年7月19日(水) 19:00~21:30 |
| ○ 場 所: | 宮津市柿ヶ成集会所 |
| ○ 出 席 者: | 関野委員、細見推進委員、大銅局長
喜多12区10人、市2人
※委員2人、委員以外13人 |
| ○ 報 告 者: | 増田 英雄 農業会議現地推進役 |

写真・図面
(地区連の写真又は
必要に応じた活動の写真や図面)

2 地区の特徴、状況、課題

- | | |
|---------------------------------------|-----------|
| ○ 山田(7区)、喜多(5区)、今福(2区)で構成される地域 | |
| ○ 大江山から市街地にかけての宮津市の中でも大きな面積と耕地に恵まれている | 農家数106戸 |
| ○ 水稻が中心で、ブドウ・採種・コギクなどの栽培が行われている | 耕地60.14ha |



3 課題解決に向けた活動(農地利用の最適化推進の取組と工夫)

- 細見推進委員が進行役となり意見交換(農業懇談会)を行う
意見の概要は、①遊休農地、②多面的事業、③農地集積、④組合設立による農作業の共同、⑤相続
⑥後継者、⑦営農の継続、⑧今後の活動について
- 意見の概要 来年30aの遊休農地が離農により発生しそうである
多面的事業は30年度で終了、草刈りが高齢でできないため
地区内の担い手の耕作状況を把握して集積を図れば、負担軽減になるのでは
家の後継者の意見を聞くことが必要、地域の今後を考える

4 活動結果

- 情報・意見交換 2.5 時間
- 担い手への集積 a 増加
- 遊休農地面積 a 解消
- 新規就農者 人 支援